CANCER NET JAPAN

We Are Always Beside You.
(Itsumo Anata no Sobani)

We Are Always Beside You.
(Itsumo Anata no Sobani)

第2回 乳がん市民公開フォーラム in 東京

「乳癌診療ガイドライン」を通じて
最新治療から代替療法までわかりやすく解説します

日時 2006年12月
14:00～17:00

会場 銀座フェニック
〒104-8139 東京都中
統バルブ会

総合司会

基調講演 「乳

パネルディスカッション 「乳がん診療ガ

司会 南雲

パネリスト

共催

パネルディスカッションのご案内

「最善の抗がん剤治療を受けたい！」

――「抗がん剤療法の現状と課題」――

「納得のいく、満足できる抗がん剤治療を受けたい」と患者・家族は願い、良心的な医師や看護師等も同じ想いをもって医療現場で働いています。しかし残念ながら、両者を隔てる壁は厚く、落差も大きいのが現状です。
今回のパネルディスカッションでは、パネリスト、会場の患者・家族、医療従事者、厚生労働省担当者、国会議員らが、「最善の抗がん剤治療」の実現を妨げている要因と、その解決策について、共通認識を深めることができればと願っています。皆様のご参加をお待ちしています。

日　時：2006年11月25日（土曜日）午後1時から4時半（開場は12時45分）
会　場：東京ウィメンズプラザ　ホール
　　東京都渋谷区神宮前 5-53-67
共　催：国会がん患者と家族の会
　　NPO 法人キャンサーネットジャパン
協　力：がん患者ネット・日本医療コーディネーター協会
参加費：1,000 円
後　援：厚生労働省

申込み：必要事項をご記入の上、下記宛にお申し込みください。先着順に受講票をお送りします。
①郵便番号/住所/氏名（ふりがな）/電話番号　②立場（患者、家族、医療職、メディア等）
メール：sympo061125@gmail.com　（半角です）
FAX：03-3581-7610
業　書：〒100-8962　住所：431 号　CNJ シンポジウム係（これで着きます）

第1部
12：45　開場
13：00　開会主催者挨拶 南雲 吉則（NPO法人キャンサーネットジャパン代表）
　第1部　がん患者の体験発表
　山本 孝史（参議院議員）「がん患者となって判ったこと」
13：45　第2部　パネルディスカッション
　「最善の抗がん剤治療を受けたい！」
　司会　南雲 吉則
　パネリスト　青谷 恵利子（北里研究所臨床試験コーディネーティング 部門室長）
　岩瀬 哲（東大病院緩和ケア診療部副部長）
　嵯峨崎 泰子（日本医療コーディネーター協会理事長）
　平岩 正樹（外科医）
　藤原 康弘（国立がんセンター中央病院腫瘍内科医）
　堀内 龍也（群馬大学大学院薬効動態制御学教授）
　吉田 和彦（慈恵大付属青戸病院副院長）

第2部
15：00　休憩・フロアーからの意見集約
15：30　参加者からの意見を交えてパネリスト・厚労省担当者の発言
16：30　閉会の挨拶 山本 孝史（要望事項の整理と今後の運動提起）